

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(卒業)
授業科目名：保育・教職実践演習（幼稚園） 英語表記：Exercise for Childcare and Education (Kindergarten)		単位数：2単位 (半期) 演習	担当教員名：浅野瞳、片口桂、 加藤房江、高橋努、塚越亜希 子、布施由起、眞柄絵里
ナンバリング：2501			担当形態：オムニバス
科目／系列	教育実践に関する科目／総合演習		
施行規則に定める科目区分 または事項等／教科目	教職実践演習／保育実践演習		
【授業の到達目標及びテーマ】			
1. 子どもに対する使命感・責任感・倫理観・教育的愛情を持って保育者としての意識や姿勢等について、これまでの学びを振り返り、自分の課題に気づくことができる。			
2. 保育・教育実習等を通じた自らの体験や収集した情報に基づき、保育に関する現代的課題について現状を分析し、課題への対応として保育者、保育・教育の現場、地域、社会に求められていることは何か、多様な視点から考察する力を習得することができる。			
3. 1及び2を踏まえ、自己の課題を明確化し、保育の実践に際して必要となる基礎的な資質・能力が向上する。			
【授業の概要】			
これまでの保育者としての学びを振り返る。また、保育者の意義や役割、職務内容の理解を確認し、これまで習得してきた知識や技能の総仕上げとして、自身の課題設定を行い、演習やロールプレイ等を通して、保育者としての実践力を向上させる。			
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】			関連性
【知識・理解・技能】			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			○
【思考・判断・表現】			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			
【関心・意欲・態度】			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			○
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			
【授業計画】		【授業時間外の学習】	
第1回：イントロダクション これまでの学修の振り返りについて		(毎回 60分程度)	
第2回：保育・教職の意義や保育者の役割、職務内容、子どもに対する責任等についてのグループ討論・ロールプレイ		保育現場で即戦力として子どもの前に立てるよう実践的な態度と技術を身につけるため、毎回の授業では、事前学習と事後学習を行うこと。	
第3回：保育内容と保育方法の研究① これまでの実習の振り返りと課題設定		毎回の授業の振り返りと次回に向けての事前準備は重要である。学生同士の意見交換なくしては、この授業は成立しないので準備は怠りなく。	
第4回：保育内容と保育方法の研究② これまでの実習の振り返りと課題設定の発表			
第5回：子ども理解の方法と実践①			
第6回：子ども理解の方法と実践② 模擬保育			
第7回：園の安全管理			
第8回：共同的な学びと育ちへ（外部講師）			

第9回：幼稚園・保育所等から小学校への接続 第10回：特別な配慮を必要とする子どもの理解と対応① 第11回：特別な配慮を必要とする子どもの理解と対応② 第12回：保護者及び地域との関係作り 第13回：保育者の専門性① 第14回：保育者の専門性② 第15回：自分の保育者像を目指して（授業のまとめ） 定期試験：なし	課題は担当者からも指示するが、自らが課題を見つけて、課題解決に向かって学習することが重要である。
【授業の方法】 ICTを活用し、共同学習を取り入れた演習を行う。また、授業に立体感を持たせるために、教室を離れてフィールドでの授業、外部講師の招聘など、現場に密着した授業を展開する。毎回の授業終了時に学習内容を振り返り適時フィードバックを行う。	
【テキスト】 「改訂版 保育教職実践演習 これまでの学びと保育者への歩み」わかば社	
【参考書・参考資料等】 必要に応じて、プリント・資料を配布する。 『保育所保育指針』（最新版）、『幼稚園教育要領』（最新版）、 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（最新版）	
【学生に対する評価】 グループ活動への参加状況（50%）、提出物（25%）、レポート（25%）をルーブリックを活用し、総合的に評価する。	
【履修上の注意】 ・履修カルテを作成しておくこと。 ・保育者を志す学生であることを常に意識し、主体的に授業に参加すること。 ・受講にあたっては事前事後学習を行い、グループ演習やロールプレイには積極的に取り組むこと。	
実務経験の有無：無	実務経験：
【実務経験を生かした教育内容】	